

講 師 角田 賢史先生

湘南藤沢徳洲会病院主任理学療法士
 北里大学医療衛生学部卒業
 北里大学大学院医療系研究科医学専攻修了（医学博士）
 認定（脳卒中）理学療法士



初学者対象のわかりやすい統計学

PT・OT・STのための医療統計セミナー

2026年4月26日(日) 9:30～11:30(予備時間11:40まで)(9:15～Zoom受付開始)

臨床の療法士にとって、最新の情報を学び続けることは至極当たり前のことです。論文や学会発表の内容を正確に読み解き、自身の治療に活かし、その効果を患者さんにわかりやすく説明することは、プロとしての重要な役割でもあります。しかし現実には、「統計」という言葉が論文を読むハードルを高くしているのも事実です。有意差、p値、統計処理……正直、難しそうだと感じてしまう方も多いのではないでしょうか。

実は、臨床の療法士が論文を正確に読み解くために必要な統計の知識は、それほど難しいものではありません。超マニアックな統計手法は専門家に任せ、臨床に必要な“使える統計”を理解することが重要です。本セミナーでは、臨床経験に近い例やケースを用いながら、医療統計を基礎からシンプルに学びます。また、論文を正しく評価する前提となる文献検索の方法についても解説し、必要な情報を自ら入手できる力を身につけます。

エビデンスに基づいた判断力を高め、患者さんに根拠をもって説明できるようになる。
 臨床のための、患者さんのための医療統計セミナーです。

離床をトータルに教える

PT・OT・STが「離床」を 基礎から実践まで深く理解するためのセミナー

2026年4月26日(日) 12:40～16:00(予備時間16:10まで)(12:20～Zoom受付開始)

患者さんの安全を守るため、離床に関わるすべての療法士が知っておくべき知識と理論があります。離床は、不必要的臥床によって生じるさまざまな悪影響を断ち切る、最も基本的な医療介入です。離床に伴って起こる生体反応は、多くの場合、解剖学的・生理学的・病理学的に理由のある変動であり、適切な知識があれば説明も予測も可能です。

本セミナーでは、離床を実践する「その前」に知っておくべき、開始基準・中止基準、関連ガイドラインなどの最低限の基礎知識を整理します。その上で、臥床によって骨関節系、心血管系、呼吸循環器系、脳・精神機能にどのような影響が生じるのか、さらに離床に伴う生体反応の生理学を学びます。

運動器系、脳血管系、呼吸循環器系それぞれについて、疾患特性に応じた離床のポイントを体系的に整理します。ただし、実際の臨床では、これらの系が単独で反応することはほとんどありません。各系は常に相互に影響し合い、複合的な反応として現れます。

そのため、単一の指標や単一の系だけを見るのではなく、患者さんの年齢、基礎疾患、全身状態、わずかな変化を統合的に捉え、総合的にリスクを判断する力が不可欠となります。

エビデンスやガイドラインに基づき、理論と臨床をつなぎながら、安全に離床を実践するための「総合力」を養うセミナーです。

リハを深く理解する1日

Zoom【集中】Webセミナー

2026.4.26 [SUN]

お申し込みは [Webサイト](#) で賜ります[ナレッジリンク](#)[検索](#)

ナレッジリンクHP

